

JAグループ鳥取自己改革推進レポート（2月号）

1. JA全農とっとりの取り組み

「鳥取アグリフェスタ2021」をWeb開催

1月18日(火)に担い手農家、法人経営者の皆様を対象にした「鳥取アグリフェスタ2021」を開催した。今年度はWeb開催により、新型コロナウイルス対策とともに自宅や組合法人事務所、どこからでも視聴できる方式で情報配信を行った。

午前中は講演会とセミナー2本、午後からJA全農とっとりの情報提供として、営農活動に役立つ取り組みや取扱商品の紹介を行った。

今後も農家の皆様へ様々な情報提供を行い、関係機関と連携しながら農家所得向上に努めていく。



2. J A鳥取信連の取り組み

担い手コンサルティングの取り組みについて

J Aバンク鳥取では、担い手経営体や中核的担い手の経営課題を可視化し、J A信用事業と営農・経済事業等が連携し、可能な限り総合事業体ならではのソリューション（解決策）を提案することで、担い手の成長（＝農業所得の向上）とJ A総合事業の成長を両立することを目的として、令和3年度から「担い手コンサルティング」に取り組んでいる。

令和3年度は、J A鳥取中央管内およびJ A鳥取西部管内から各1先の担い手を選定し、全国のサポートを受けながら担い手コンサルティングに取り組んだ。J Aバンク鳥取としてはじめての取り組みであり、方向性を模索する中でのソリューション提案となったが、本取り組みを行った担い手からは「感覚的に捉えていたことが、数字やデータとして明らかになることで、自らの経営を振り返られる有意義な取り組みであった」「これからの経営の方向づけをしてもらったことに感謝している」等のご感想・ご意見をいただいている。

令和4年度以降も、当初の目的を達成するため、J A・信連一体となって、かかる取り組みを進めていく。

3. JA共済連鳥取の取り組み

スマイルサポーター オンライン研修会の開催について

令和3年12月6・9日、スマイルサポーター（窓口担当者）を対象に、カウンターセールスにおいて必要な提案力を習得するため、研修会を開催した。

令和3年4月に、医療共済の仕組みが新しくなり、入院日数の短期化や入院前後の治療費の増加等、昨今の医療環境の変化にも対応したものとなった。これまでの入院保障と変わった点をお伝えできるよう、基礎知識と共済の活用ポイントを学習した。

今後も「ひと・いえ・くるまの総合保障」の提供を通じ、組合員・利用者により安心と満足を提供できるよう、知識・提案力の向上に努めていく。



以上